

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	全学共通科目(学問基礎科目)		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	bcxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報のいろは				
	(英文名) What is information?				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 情報科学				
	(英文名) Information Science				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Hayashi Toshihiro, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	情報科学、認知、コンピュータ、情報化社会／information science, cognition, computer, information oriented society				
21. 授業概要	情報は我々の生活を考える上で必ず出てくるキーワードである。我々が扱っている情報とはどのようなものなのか、本講義では情報を様々な視点から俯瞰してその特徴について講義する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	本講義では、情報に関する代表的な視点から情報の特徴および関連する内容を包括的に学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1)情報と知覚、認知、感覚の観点から説明できる。 (2)情報科学の基礎的な項目(表現、圧縮、エラー処理、情報量)を説明できる。 (3)コンピュータと関連づけて情報を説明することができる。 (4)インターネットを中心に我々がどのように情報に向き合うべきか意見を述べるすることができる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p> <p>第1回目 講義ガイダンス、「情報のいろは」で何を学ぶか？</p> <p>第2回目 情報と感覚</p> <p>第3回目 情報と知覚・認知</p> <p>第4回目 情報と感性</p> <p>第5回目 情報の表現(1) 情報と2進数</p> <p>第6回目 情報の表現(2) 様々なメディアの表現</p> <p>第7回目 情報の圧縮</p> <p>第8回目 情報のエラー処理</p> <p>第9回目 情報理論</p> <p>第10回目 情報の探索</p> <p>第11回目 情報と手続き</p> <p>第12回目 コンピュータと情報(1) 論理演算</p> <p>第13回目 コンピュータと情報(2) 算術演算</p> <p>第14回目 情報と社会(1) インタネットの世界</p> <p>第15回目 情報と社会(2) インタネットの光と影</p> <p>※各回(第1回～15回目)の具体的な公開予定日などは別途連絡する。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の課題(15回:各最高5点)と最終課題(1回:最高25点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大15回)が10回未満、または、最終課題が未提出の場合は得点に関わらず不可とする。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:なし</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	不明な点があれば遠慮無く電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)で問い合わせさせていただきたい。			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			教科書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>																										
教科書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			参考書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書2	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書3	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書2	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書3	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			<input type="checkbox"/>																																							
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																							
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																							
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時：金曜1時限目 場所：幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>																																							
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							

40. その他／備考



シラバス情報収集フォーマット(2016年12月14日改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	授業(e-Learning)90分×8回＋自学自習	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	dexG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 地域コンテンツと知財管理 その1				
	(英文名) Local Contents and Management of Intellectual Property first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Hayashi Toshihiro, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	知的財産管理, コンテンツ, 特許, 企業経営 Intellectual Property Management, Contents, Patent, Corporate Management				
21. 授業概要	地域コンテンツを紹介しながら, 知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回では発明やブラン ドの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	香川県を中心とする四国各地のコンテンツ(発明, 商標など)について知識を得ることができる。知的財 産管理に関する基礎知識を習得し, 問題意識をもって身近な事例に接することができる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	知的財産管理の基礎知識を説明し, 社会において地域コンテンツを管理する際に注意すべき点など について具体的に述べるができる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能 力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む) 発明の保護その1(法目的, 特許を受ける権利) 2. 発明の保護その2(特許出願) 3. 発明の保護その3(特許権の活用) 4. 発明の保護その4(係争対策) 5. 罰則・雑則, これまでの復習 6. ブランドの保護 7. 知財管理と周辺領域(外国出願, 実用新案) 8. 期末レポート <p>【授業及び学習の方法】</p> <p>インターネットで配信されるe-Learning教材を, 大学のPCルームなどで視聴したうえで学習する。視聴する際には, ノートへの書き取りなど, 主体的な態度を心がけなければ, 講義を理解することは不可能である。各回の内容について, 理解度を測るため及び出席確認のため, e-Learning教材と教科書の内容に基づいた小テストを実施するので, 教科書を必ず購入すること。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	四国の地域コンテンツに関する調査を目的とした自由課題を公開する。ただし, 成績評価に影響しない。法改正も踏まえ, 適宜, インターネットや書籍等で情報収集に努めること。		☑
28. 成績評価の方法と基準	小テスト(10点×7回)+期末レポート30点により評価し, 60点以上の評価により合格とする。ただし, 期末レポートの提出が成績評定の条件とする。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>パソコンの基本的な使い方など, e-Learning教材を利用するための知識と技術を必要とする。</p> <p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学 20名、徳島大学 20名、鳴門教育大学 20名、高知大学 20名、愛媛大学 20名</p> <p>2018年度以前に「地域コンテンツと知財管理」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また, 受講制限をかけるので, 大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで, 期限内に手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/index.html</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定3級最短マスター」			<input checked="" type="checkbox"/>
		I S B N	978-4-86251-086-0	著者名	佐倉 豪	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2015	
		金額	2,530円 (紙の本)	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定2級最短マスター」			<input type="checkbox"/>
		I S B N	4862511198	著者名	本間 政憲	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2011	
		金額	2,530円	備考		
	参考書2	書名				
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	34. Webテキスト(URL・説明)	https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから迎えることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/				
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール (lc_ipm@cc.kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール (lc_ipm@cc.kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考					<input type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年12月14日改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	後期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	授業(e-Learning)90分×8回＋自学自習	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	dexG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 地域コンテンツと知財管理 その2				
	(英文名) Local Contents and Management of Intellectual Property second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Hayashi Toshihiro, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年次／全学部	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	知的財産管理, コンテンツ, 著作権, 企業経営 Intellectual Property Management, Contents, Copyright, Corporate Management				
21. 授業概要	地域コンテンツを紹介しながら, 知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回ではインターネット時代におけるコンテンツやデザインの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	香川県を中心とする四国各地のコンテンツ(デザイン, コンテンツなど)について知識を得ることができ る。知的財産管理に関する基礎知識を習得し, 問題意識をもって身近な事例に接することができる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	知的財産管理の基礎知識を説明し, 社会において地域コンテンツを管理する際に注意すべき点など について具体的に述べることができる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能 力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む) 知財法の体系, 知財管理の基礎 2. インターネットとデジタルコンテンツ 3. コンテンツの保護その1(著作物と著作者) 4. コンテンツの保護その2(著作者の権利) 5. コンテンツの保護その3(著作隣接権, 保護期間, 侵害対応) 6. デザインの保護 7. 知財管理と周辺領域(知財法比較, 練習問題) 8. 期末レポート <p>【授業及び学習の方法】</p> <p>インターネットで配信されるe-Learning教材を, 大学のPCルームなどで視聴したうえで学習する。視聴する際には, ノートへの書き取りなど, 主体的な態度を心がけなければ, 講義を理解することは不可能である。各回の内容について, 理解度を測るため及び出席確認のため, e-Learning教材と教科書の内容に基づいた小テストを実施するので, 教科書を必ず購入すること。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	四国の地域コンテンツに関する調査を目的とした自由課題を公開する。ただし, 成績評価に影響しない。法改正も踏まえ, 適宜, インターネットや書籍等で情報収集に努めること。		☑
28. 成績評価の方法と基準	小テスト(10点×7回)+期末レポート30点により評価し, 60点以上の評価により合格とする。ただし, 期末レポートの提出が成績評定の条件とする。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>パソコンの基本的な使い方など, e-Learning教材を利用するための知識と技術を必要とする。</p> <p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学 20名、徳島大学 20名、鳴門教育大学 20名、高知大学 20名、愛媛大学 20名</p> <p>2018年度以前に「地域コンテンツと知財管理」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また, 受講制限をかけるので, 大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで, 期限内に手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/index.html</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定3級最短マスター」			<input checked="" type="checkbox"/>
		I S B N	978-4-86251-086-0	著者名	佐倉 豪	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2015	
		金額	2,530円 (紙の本)	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定2級最短マスター」			<input type="checkbox"/>
		I S B N	4862511198	著者名	本間 政憲	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2011	
		金額	2,530円	備考		
	参考書2	書名				
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該科目	教職・その他()		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール (lc_ipm@cc.kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール (lc_ipm@cc.kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考					<input type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年12月16日改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	全学共通科目主題C		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ebcG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 香川を学ぶ その1 (英文名) Studies on Kagawa Region first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 藤本 憲市, 林 敏浩 (ローマ字) Fujimoto Ken' ichi, Hayashi Toshihiro				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	香川を学ぶ その2
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	香川を学ぶ その2
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	香川県, 歴史, 文化, 伝統, Kagawa prefecture, History, Culture, Tradition,				
21. 授業概要	香川県に関することを多視的な側面から取り上げて講義する。具体的には、四国遍路, 栗林公園, 瀬戸 内海運の歴史, 文化財, 及び伝統食の一端を紹介する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	香川県(讃岐)の伝統食や文化財, 香川県内の産業に関する事柄など, 香川県にまつわる歴史, 文化, 及び伝統に関する課題などを理解し, 「地域」に関する知識や関心・意欲を高めることができるようにな ることが本授業の目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 讃岐地方の歴史や文化を理解できる(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対 応)。 2. 地域社会の現状について説明することができる(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に 関する知識」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

	3. 地域社会の課題を探求し、その解決策を提示できる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】 諸事情により授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(授業概要等), 四国遍路の歴史 2. 讃岐の札所と遍路道 3. 近世の讃岐国における遍路の実態 4. 栗林公園の美と歴史 5. 瀬戸内海運の歴史 6. 文化財と観光資源論 7. 讃岐の伝統食 8. 期末レポート <p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、ガイダンスを参照のこと。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各回の授業内容について理解を深めるため、インターネットや書籍等で適宜情報収集に努めること。e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課す。	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	小テスト7回 50点(特に到達目標1に対応)、期末レポート 50点(特に到達目標2及び3に対応)により評価し、60点以上の評価により合格とする。ただし、すべての小テストを提出(受験)していない場合は、期末レポートの提出資格を与えない。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け 再試験は実施しない。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け 再試験は実施しない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>所属大学において本授業科目の履修が許可され、所定の期日までに履修登録及びMoodle上でのコース登録が完了していること。パソコンの基本的な使い方など、e-Learning授業を受講するための知識と技術(動画視聴、ファイル閲覧、オンラインテスト受験、課題提出など)を有していること。</p> <p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学_20名・徳島大学_20名・鳴門教育大学_20名・高知大学_20名・愛媛大学_20名</p> <p>2018年度以前に「香川を学ぶ」の単位を修得している場合は履修できない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行いません。履修可能人数に制限があります。所属大学における所定の期限内に履修登録を完了できなかった場合は履修を許可しません。また、履修登録とは別にe-Learningシステム(Moodle)上のコース登録も必要です。これらの詳細は、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページ(https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/index.html)に掲載している履修登録の手続き等を熟読のこと。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			教科書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>																										
教科書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			参考書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書2	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書3	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書2	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書3	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																							
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																							
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワーは設定しないので、電子メール(kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp)を利用のこと。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) オフィスアワーは設定しないので、電子メール(kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp)を利用のこと。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
40. その他／備考	無し			<input type="checkbox"/>																																							

シラバス情報収集フォーマット(2016年12月16日改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	後期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	全学共通科目主題C		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ebcG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 香川を学ぶ その2 (英文名) Studies on Kagawa Region second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 藤本 憲市, 林 敏浩 (ローマ字) Fujimoto Ken' ichi, Hayashi Toshihiro				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	香川を学ぶ その1
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	香川を学ぶ その1
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	香川県, 産業, 環境 Kagawa prefecture, Industry, Environment				
21. 授業概要	香川県に関することを多視的な側面から取り上げて講義する。具体的には、香川における産業とまちづくり事例、環境問題などに関する事柄を紹介する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	香川県(讃岐)のまちづくり事例、産業、水問題、風水害に関する事柄など、香川県にまつわる産業及び環境に関する課題などを理解し、「地域」に関する知識や関心・意欲を高めることができるようになることが本授業の目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 香川県におけるまちづくり、産業、及び自然環境について理解できる(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応)。 2. 地域社会の現状について説明することができる(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

	3. 地域社会の課題を探求し、その解決策を提示できる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】 諸事情により授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(授業概要等), まちづくりの事例 2. 讃岐の盆栽 3. 香川の手袋産業 4. 大学と地場産業との連携 5. 香川の水を考える 6. ゲリラ豪雨等災害と避難のシミュレーション 7. 風水害と対策 8. 期末レポート <p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、ガイダンスを参照のこと。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各回の授業内容について理解を深めるため、インターネットや書籍等で適宜情報収集に努めること。e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課す。	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	小テスト7回 50点(特に到達目標1に対応)、期末レポート 50点(特に到達目標2及び3に対応)により評価し、60点以上の評価により合格とする。ただし、すべての小テストを提出(受験)していない場合は、期末レポートの提出資格を与えない。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け 再試験は実施しない。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け 再試験は実施しない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>所属大学において本授業科目の履修が許可され、所定の期日までに履修登録及びMoodle上でのコース登録が完了していること。パソコンの基本的な使い方など、e-Learning授業を受講するための知識と技術(動画視聴、ファイル閲覧、オンラインテスト受験、課題提出など)を有していること。</p> <p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学_20名・徳島大学_20名・鳴門教育大学_20名・高知大学_20名・愛媛大学_20名</p> <p>2018年度以前に「香川を学ぶ」の単位を修得している場合は履修できない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行いません。履修可能人数に制限があります。所属大学における所定の期限内に履修登録を完了できなかった場合は履修を許可しません。また、履修登録とは別にe-Learningシステム(Moodle)上のコース登録も必要です。これらの詳細は、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページ(https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/index.html)に掲載している履修登録の手続き等を熟読のこと。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			教科書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>																										
教科書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> </tr> </table>			参考書1	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書2	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書3	書名			ISBN		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書2	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書3	書名																																										
	ISBN		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																							
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																							
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワーは設定しないので、電子メール(kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp)を利用のこと。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) オフィスアワーは設定しないので、電子メール(kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp)を利用のこと。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	kgw01@cc.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
40. その他／備考	無し			<input type="checkbox"/>																																							

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	前期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	主題科目C 講義科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	ebxG	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 香川の文化と歴史 その1 (英文名) Culture and History of Kagawa first period				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 原 直行 (ローマ字) Hara Naoyuki				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区分	無し	
14. 対象学生	1年次生以上 全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	年次生以上 全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	香川の文化と歴史 その2	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	香川の文化と歴史 その2		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3つ以上5つ以下)	香川、瀬戸内地域、離島、生活文化 Kagawa, Setouchi Area, Islands of Seto Inland Sea, Lifestyle and Culture				
21. 授業概要	香川の地域特性のひとつとして、瀬戸内海とこれにまつわる生活環境や文化を挙げることができる。本科目では、瀬戸内海地域に焦点を絞り、歴史と生活・習俗について概観する。毎回、各分野・地域の専門家が文化と歴史にまつわるトピックについて講義をおこなう形式ですすめていく。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	瀬戸内地域を中心とした香川に関する知見を深めるとともに、同地域が抱える課題とその解決に向けた取り組みの様態について理解することを目的とする。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	瀬戸内地域を中心とした香川の地域的特徴と課題について説明ができる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 香川の歴史</p> <p>第2回 香川における文化振興の現状を理解する</p> <p>第3回 香川にゆかりのある芸術とアーティスト (1)</p> <p>第4回 香川にゆかりのある芸術とアーティスト (2)</p> <p>第5回 里海里山文化について</p> <p>第6回 祭礼行事 (1)</p> <p>第7回 祭礼行事 (2)</p> <p>第8回 魚食文化について</p> <p>※ 授業構成の関係上、授業内容が変更・前後することがあります。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各回の授業内容について理解を深めるため、各自、インターネットや書籍等で適宜、情報収集に努めること。		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の小テストおよび期末試験(レポート)により評価する(期末試験の受験必須)。</p> <p>配点:100点満点(小テスト64点(各8点×8回)+期末試験 36点)</p> <p>小テスト未受験回数が3回以上の受講生は、期末試験の受験資格はありません。その場合は期末試験を受験しても成績評価対象としない。</p> <p>期末試験を受験しない場合は、小テストのみで60点以上を取得していても成績評価対象としません。</p> <p>すべての小テスト及び期末試験はMoodle(LMS)を用いてオンラインで実施する。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	☑
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学50名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名</p> <p>2018年度以前に「香川の文化と歴史」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS (Learning Management System) にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			☑																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	☑																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				□																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。		☑																																																			
38. オフィスアワー	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。		☑																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	授業内容に関する問い合わせはsetouchi@ec.kagawa-u.ac.jpに送付してください。		☑																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	連携大学 学生向け	授業内容に関する問い合わせはsetouchi@ec.kagawa-u.ac.jp に送付してください。		☑																																																			
40. その他／備考	本科目はオムニバス形式の授業であり、半数以上の授業回を実務経験のある講師(地方公共団体公務員、学芸員等)が担当します。画像や映像、資料等を多用しながら、それぞれの現場での近年の実践事例や調査研究の成果を提示させていただきます。			☑																																																			

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目C 講義科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ebxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 香川の文化と歴史 その2				
	(英文名) Culture and History of Kagawa second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 原 直行				
	(ローマ字) Hara Naoyuki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1年次生以上 全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	年次生以上 全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	香川の文化と歴史 その 1	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	香川の文化と歴史 その 1		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	香川、瀬戸内地域、離島、生活文化 Kagawa, Setouchi Area, Islands of Seto Inland Sea, Lifestyle and Culture				
21. 授業概要	香川の地域特性のひとつとして、瀬戸内海とこれにまつわる生活環境や文化を挙げることができ る。本科目では、瀬戸内海地域に焦点を絞り、離島の生活・習俗を概観する。毎回、各分野・地 域の専門家が文化と歴史にまつわるトピックについて講義をおこなう形式ですすめていく。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	瀬戸内地域を中心とした香川に関する知見を深めるとともに、同地域が抱える課題とその解決に 向けた取り組みの様態について理解することを目的とする。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	瀬戸内地域を中心とした香川の地域的特徴と課題について説明ができる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)						
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 離島と離島振興について理解する</p> <p>第2回 景観論の観点から瀬戸内地域を概観する</p> <p>第3回 瀬戸内の漁労文化と島の暮らし</p> <p>第4回 伊吹島の事例</p> <p>第5回 直島の事例</p> <p>第6回 瀬戸内国際芸術祭①</p> <p>第7回 瀬戸内国際芸術祭②</p> <p>第8回 瀬戸内国際芸術祭③</p> <p>※ 授業構成の関係上、授業内容が変更・前後することがあります。</p>	☑				
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各回の授業内容について理解を深めるため、各自、インターネットや書籍等で適宜、情報収集に努めること。	☑				
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の小テストおよび期末試験(レポート)により評価する(期末試験の受験必須)。</p> <p>配点:100点満点(小テスト64点(各8点×8回)+期末試験 36点)</p> <p>小テスト未受験回数が3回以上の受講生は、期末試験の受験資格はありません。その場合は期末試験を受験しても成績評価対象としない。</p> <p>期末試験を受験しない場合は、小テストのみで60点以上を取得していても成績評価対象としません。</p> <p>すべての小テスト及び期末試験はMoodle(LMS)を用いてオンラインで実施する。</p>	☑				
29. 再試験の有無	<table border="1" data-bbox="357 1384 1425 1480"> <tr> <td data-bbox="357 1384 587 1435">自大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1384 1425 1435">無し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1435 587 1480">連携大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1435 1425 1480">無し</td> </tr> </table>	自大学学生向け	無し	連携大学学生向け	無し	☑
自大学学生向け	無し					
連携大学学生向け	無し					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学50名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名</p> <p>2018年度以前に「香川の文化と歴史」を単位修得している場合は履修できない。</p>	☑				
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS (Learning Management System) にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。	☑				

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	教職・その他()		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	授業内容に関する問い合わせはsetouchi@ec.kagawa-u.ac.jpに送付してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	授業内容に関する問い合わせはsetouchi@ec.kagawa-u.ac.jpに送付してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他/備考	本科目はオムニバス形式の授業で、半数以上の授業回を実務経験のある講師(地方公共団体公務員、学芸員、アートディレクター、財団職員等)が担当します。画像や映像、資料等を多用しながら、それぞれの現場での近年の実践事例や調査研究の成果を提示させていただきます。				<input checked="" type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020		2. 開講学期	前期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の歴史と文化 その1				
	(英文名) History and Culture of Shikoku area first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名): 歴史編				
	(英文名): History				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 守田 逸人, 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) MORITA Hayato, Hayashi Toshihiro, FUJIMOTO Kenichi,				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	1年～全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年～	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 2 文化編	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その2 文化編
	連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 2 文化編		連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その2 文化編
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	四国、瀬戸内海、香川県、歴史、 Shikoku area, The Seto Inland Sea, Kagawa prefecture, History,				
21. 授業概要	四国の歴史・文化について講義する。各回では、四国で活躍した人々の事績や、都と四国との結びつき、四国に残された遺跡・史跡、各地の方言、四国に関わる文学作品など、四国の歴史・文化に関わるテーマを取り上げる。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国の各大学に在籍する自分が暮らす地域の歴史と文化について知識を得ることができる。歴史に関わる回では、現代的課題でもある四国地域と京阪神地域との結びつきなどについて、理解を深めることもできる。文化に関わる回では、四国の風土や歴史に関わった文学や方言の内実について、いくらか知ることができる。 本授業での学習を通じて、香川を含む四国地域に関する知識や関心・意欲を高めるとともに、四国の歴史と文化に関する研究の背景や現状について説明できるようになることが目標である。				☑

23. 授業の到達目標 ／学修課題	<p>1. 四国地域の「歴史と文化」についてのいくつかのトピックを詳しく説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)</p> <p>2. 地域の歴史と文化に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる。(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)						
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>① ガイダンス(授業概要、受講方法等について)</p> <p>② 平安末阿波武士と仏教文化 (大石 雅章/鳴門教育大学理事・副学長(教育・研究担当))</p> <p>③ 四国の万葉集と古代史 (田中省造/四国大学文学部)</p> <p>④ 屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(1) (田中健二 /香川大学教育学部)</p> <p>⑤ 屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(2)</p> <p>⑥ 屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(3)</p> <p>⑦ 中世の瀬戸内海水運(1) (田中健二 /香川大学教育学部)</p> <p>⑧ 中世の瀬戸内海水運(2)</p> <p>【e-Learning科目の履修登録に際して】</p> <p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため、講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム(ドリームキャンパス)の履修登録とは別にe-Learningシステム(LMS)の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。</p> <p>URL: https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/index.html</p> <p>【自学自習について】</p> <p>各回の授業内容について理解を深めるため、インターネットや書籍等で適宜情報収集に努めること。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課している。しっかり復習してから小テストを受験すること。	<input checked="" type="checkbox"/>				
28. 成績評価の方法と基準	授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、合計得点に関わらず「不可」の評定とする。	<input checked="" type="checkbox"/>				
29. 再試験の有無	<table border="1" data-bbox="357 1944 1425 2045"> <tr> <td data-bbox="357 1944 587 2000">自大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1944 1425 2000">なし</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 2000 587 2045">連携大学学生向け</td> <td data-bbox="587 2000 1425 2045">なし</td> </tr> </table>	自大学学生向け	なし	連携大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
自大学学生向け	なし					
連携大学学生向け	なし					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	なし 受講人数制限: あり ・なし	<input checked="" type="checkbox"/>				

	香川大学80名・徳島大学14名・鳴門教育大学14名・高知大学14名・愛媛大学14名			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	* 2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。			<input checked="" type="checkbox"/>
32. 教科書(購入の必要のある図書)	特に指定しない。			
	教科書1	書名		<input type="checkbox"/>
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名		<input type="checkbox"/>
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
	参考書2	書名		
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
	参考書3	書名		
		ISBN	著者名	
		出版社	出版年	
		金額	備考	
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			<input checked="" type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし 教職・その他()	<input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(rekishi1@cc.kagawa-u.ac.jp)を利用すること。		<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 特に設けない。電子メール (rekishi1@cc.kagawa-u.ac.jp) を利用すること。		<input checked="" type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	rekishi1@cc.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>

	連携大学 学生向け	rekishi1@cc.kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. その他／備考	なし		<input type="checkbox"/>

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ebxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の歴史と文化 その2				
	(英文名))History and Culture of Shikoku area second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 文化編				
	(英文名) Culture				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 渡邊史郎 林敏浩 藤本憲市				
	(ローマ字) Watanabe Shiro, Hayashi Toshihiro, Fujimoto Kenichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～ 全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 1 歴史編	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	四国 文化 漢文 文学 方言学／shikoku, culture, chinese classics, literature, dialectology				
21. 授業概要	四国の文化について講義する。各回では、四国に関わる文学作品などに関わるテーマを取り上げる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国の風土や歴史に関わる文学や方言についていくらかの知識を得ることで、自らが暮らす地域につ いて深く知るきっかけをつくることは重要である。本授業での学習を通じて、香川を含む四国地域に関す る知識や関心・意欲を高めるとともに、四国の歴史と文化に関する研究の背景や現状について説明で きるようになることが目標である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 四国地域の文化についてのいくつかのトピックを詳しく説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な 人文・社会・自然に関する知識」に対応) 2. 地域の歴史と文化に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる。(共通教育スタンダード				<input checked="" type="checkbox"/>

	の「地域に関する関心と理解力」に対応)	
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	1 ガイダンス、四国の文化に向けて(渡邊史郎/香川大学教育学部) 2 四国の万葉集と古代史 (田中省造/四国大学文学部) 3 石碑の持つ意味——屋島の石碑を題材に—— (池田 恭哉/香川大学教育学部) 4 物理学者・寺田寅彦の文学 (永橋 禎子/高知県立文学館) 5 黒島傳治と壺井栄におけるプロレタリア文学の側面(渡邊史郎/香川大学教育学部) 6 菊地寛について(藤井雄三/高松市教育委員会) 7 愛媛を歩く——方言の旅—— (清水 史/愛媛大学法文学部) 8 期末レポート(オンライン) ※各回の担当者の所属については、コンテンツ収録当時のものです。	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課している。しっかり復習してから小テストを受験すること。	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合、合計得点に関わらず「不可」の評定とする。またレポートに剽窃が認められた場合も「不可」となる。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け 無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け 無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学80名・徳島大学14名・鳴門教育大学14名・高知大学14名・愛媛大学14名 2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	本授業はフルオンデマンドのe-Learning形態で実施するため講義室での対面授業は行わない。詳細は大学連携e-Learning教育支援センター四国ホームページ (https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/) にある「知プラe科目の履修案内」に記載されているので必ず熟読のこと。 本授業を履修するためには、各自パソコンからMoodle(LMS)への登録が必要となる。登録は期限内に完了すること。もし期限内に登録が完了していない場合は履修を許可しない。また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。 各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い自主的・主体的に学習に努めること。 期末レポートについては、第1回のレポートに関するガイダンスをよく理解して取り組むこと。特にどのようなものが剽窃に当たるかを厳密に理解すること。	<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			<input type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	rekishi@cc.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	無し		<input type="checkbox"/>																																																			
40. その他／備考	講師陣に、文学館や教育委員会に勤務する方々を迎えているため、地域における文化政策の方向性についても考えることが出来るだろう。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の自然環境と防災 その1				
	(英文名) Natural Environment and Disaster Measures of Shikoku Area, First Period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 寺尾 徹, 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Terao Toru, Hayashi Toshihiro, Kenichi FUJIMOTO				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	四国、自然、地質、水資源と気候、海洋 Shikoku Island, Nature, Geology, Water Resource and Climate, Ocean				
21. 授業概要	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見えてくる、驚くような自然環境の仕組みを探す旅に出よう。地形が物語る壮大な四国形成史のドラマ。豪雨地帯と乾燥地帯の同居する島に生きる人々の水資源を求める知恵のかずかず。瀬戸内の自然環境の魅力と里海再生のとりのくみ。21世紀の四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国地域の自然の特徴と魅力を学ぶことで「地域」を理解し、防災や環境の保全、地域の活性化にも活かせるようになる。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応)。 2. 四国の自然を地球誌の中にとらえ直す視点の転換を体験する(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。				<input type="checkbox"/>

	3. 四国の自然から魅力を見出し、地域社会に活かせるようになる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。		
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1部:四国の自然環境</p> <p>(1)ガイダンス / ため池の歴史 黒川義夫(前香川県農政水産部土地改良課長)</p> <p>(2)四国の河川環境と暮らし・防災 古田昇(徳島文理大学文学部教授)</p> <p>(3)四国の気候と水資源 寺尾徹(香川大学教育学部教授)</p> <p>(4)讃岐の地形と地質の面白さ 長谷川修一(香川大学工学部教授)</p> <p>第2部:瀬戸内海の環境</p> <p>(5)四国の国立公園の魅力 齋藤倫実(環境省高松自然保護官事務所自然保護官)</p> <p>(6)瀬戸内海の浅海環境の抱える問題 多田邦尚(香川大学農学部教授)</p> <p>(7)里海と里山とのつながりについて考える(仮題) 田中丈裕(里海づくり研究会議事務局長)</p> <p>(8)期末レポート</p> <p>※授業内容は諸事情により変更になることがあります。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、期末レポートの提出許可を与えない。		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学 200名・徳島大学 50名・鳴門教育大学 50名・高知大学 50名・愛媛大学 50名</p> <p>2018年度以前に「四国の自然環境と防災」を単位修得している場合は履修できない。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawaにある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</p>			☑																																																			
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	□																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				□																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(shizen@cc.kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		☑																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 電子メール (shizen@cc.kagawa-u.ac.jp) を利用してください。		☑																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	shizen@cc.kagawa-u.ac.jp		☑																																																			
	連携大学 学生向け	shizen@cc.kagawa-u.ac.jp		☑																																																			
40. その他／備考	中央省庁や地方自治体等の実務経験のある教員が、地域の自然環境の保全等に取り組んできた経験を生かし、瀬戸内地域の自然環境の考察力を身につけるための教育を行っている。			☑																																																			

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020	2. 開講学期	後期後半		
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目	4. 授業形態／授業種 別	eラーニング		
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目	6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング			
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の自然環境と防災 その2				
	(英文名) Natural Environment and Disaster Measures of Shikoku Area, Second Period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 寺尾 徹, 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Terao Toru, Hayashi Toshihiro, Kenichi FUJIMOTO				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード		11. 昼夜			
12. 単位数	1	13. 選必区分／単位区 分	なし		
14. 対象学生	1～2年全学部	15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部		
16. 曜日・時限	なし	17. 講義室			
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	四国、自然、地震、防災、環境教育 Shikoku Island, Nature, Earthquake, Disaster Prvention, Environmental Education				
21. 授業概要	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見えてくる、驚くような自然環境の仕組みを探す旅に出よう。地球最大級のプレート境界型地震・東南海・南海地震の危険が迫る太平洋岸。それとたたかおうと立ち上がる地域の力。自然の営みと人間の関わり方の新たな模索。21世紀の四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。			<input checked="" type="checkbox"/>	
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国地域の自然の特徴と魅力を学ぶことで「地域」を理解し、防災や環境の保全、地域の活性化にも活かせるようになる。			<input type="checkbox"/>	
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応)。 2. 四国の自然の循環と災害のメカニズムを正確に理解する(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。			<input type="checkbox"/>	

	3. 四国が直面する豪雨や地震などに伴う災害の脅威に正しく対処できるようになる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。		
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第3部:災害に備える</p> <p>(1)ガイダンス・子どもぼうさい探検隊を通じた防災教育活動 片岡信彦(日本損保協会)</p> <p>(2)四国の大地の成り立ちから学ぶ自然災害 西山賢一(徳島大学総合科学部准教授)</p> <p>(3)先人の教えに学ぶ—四国防災88話— 松尾裕治(防災教育センター特命教授)</p> <p>(4)災害と交通インフラ—四国の防災対策— 植松真二(国土交通省四国地方整備局総括防災調整官)</p> <p>第4部:持続可能な自然と社会</p> <p>(5)ジオパークは人を幸せにできるのか 柚洞一央(徳山大学経済学部准教授)</p> <p>(6)持続可能な社会づくりのための環境教育① 小林修(愛媛大学国際連携推進機構アジア・アフリカ交流センター・准教授)</p> <p>(7)持続可能な社会づくりのための環境教育② 同上</p> <p>(8)期末レポート</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、期末レポートの提出許可を与えない。		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学 200名・徳島大学 50名・鳴門教育大学 50名・高知大学 50名・愛媛大学 50名</p> <p>2018年度以前に「四国の自然環境と防災」を単位修得している場合は履修できない。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawaにある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ</p> <p>https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</p>			☑																																																			
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	□																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				□																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(shizen@cc.kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		☑																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 電子メール (shizen@cc.kagawa-u.ac.jp) を利用してください。		☑																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	shizen@cc.kagawa-u.ac.jp		☑																																																			
	連携大学 学生向け	shizen@cc.kagawa-u.ac.jp		☑																																																			
40. その他／備考	中央省庁や地方自治体、民間団体等の実務経験のある教員が、地域の防災等に取り組んできた経験を生かし、瀬戸内地域の防災に係わる考察力を身につけるための教育を行っている。			☑																																																			

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科 ※香川大学生は履修 制限あり		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	全学共通科目主題C		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ebcG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の地域振興 その1				
	(英文名) Local Development of Shikoku Area first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林敏浩、藤本憲市				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi, Ken'ichi Fujimoto				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	四国の地域振興 その2
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	四国の地域振興 その2
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	四国、地域振興、地場産業、地方制度／Shikoku, Local Development, Local Industry, Local Systems				
21. 授業概要	四国における地域振興の取組みを以下の側面から学びます。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と感心を培い、地域活性化への道を探ります。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状を理解し地域活性化に関する実践的関心を培うことができるようになる。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。 2. 地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状認識や地域活性化に関して				☑

	概要を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>(1) ガイダンス ～四国の地域振興 その1で何を学ぶか?～</p> <p>(2) 讃岐のハマチ養殖と野網和三郎 (嶋野勝路(全国海水養魚協会会長))</p> <p>(3) 讃岐うどん (香川政明(さぬき麺業社長))</p> <p>(4) 香川の手袋産業 (原直行(香川大学))</p> <p>(5) 香川の石材産業 (西成典久(香川大学))</p> <p>(6) 高知の林業と製造業 (石筒覚・霜田博史(高知大学))</p> <p>(7) 四万十の今と昔 (原直行(香川大学))</p> <p>(8) 動画による地域のPR(林敏浩(香川大学))</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>【学習の方法】</p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満、または、最終課題が未提出の場合は得点に関わらず不可とする。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け なし	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:なし</p> <p>2018年度以前に「四国の地域振興」を単位修得している場合は履修できない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからLMS (Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。本授業を履修するには、各自でパソコンからのLMSへの登録やコース登録が必要となるが、所定の日(詳細はガイダンス等を参照)までに登録が完了していない場合は履修を許可しない。教材を視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガ	<input checked="" type="checkbox"/>

	イダンス)を視聴すること。					
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時：金曜1時限目 場所：幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>		
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
40. その他/備考				<input type="checkbox"/>		

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	後期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科 ※香川大学生は履修 制限あり		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	全学共通科目主題C		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ebcG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の地域振興 その2				
	(英文名) Local Development of Shikoku Area second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林敏浩、藤本憲市				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi, Ken'ichi Fujimoto				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	四国の地域振興 その1
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	四国の地域振興 その1
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	四国、地域振興、地場産業、地方制度／Shikoku, Local Development, Local Industry, Local Systems				
21. 授業概要	四国における地域振興の取組みを以下の側面から学びます。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と感心を培い、地域活性化への道を探ります。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状を理解し地域活性化に関する実践的関心を培うことができるようになる。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。 2. 地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状認識や地域活性化に関して				☑

	概要を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。		
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>(1) ガイダンス ～四国の地域振興 その2で何を学ぶか?～ (2) 文化力とまちづくり (竹内守善(香川大学非常勤講師)) (3) 地域振興とメディア (林敏浩(香川大学)) (4) アートとエコツーリズム (石井亨(香川大学非常勤講師)) (5) 共同体の崩壊 (石井亨(香川大学非常勤講師)) (6) 四国四県の政治経済の歴史 (八幡和郎(徳島文理大学)) (7) 四国の展望—四県知事インタビュー—(八幡和郎(徳島文理大学)) (8) 四国の展望—四県知事インタビュー—(八幡和郎(徳島文理大学))</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>【学習の方法】</p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS(Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満、または、最終課題が未提出の場合は得点に関わらず不可とする。	<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:なし</p> <p>2018年度以前に「四国の地域振興」を単位修得している場合は履修できない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。本授業を履修するには、各自でパソコンからのLMSへの登録やコース登録が必要となるが、所定の日(詳細はガイダンス等を参照)までに登録が完了していない場合は履修を許可しない。教材を視聴する際は、話のポイントをノ	<input checked="" type="checkbox"/>	

	一トに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を視聴すること。					
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時：金曜1時限目 場所：幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>		
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>		
40. その他/備考				<input type="checkbox"/>		

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	前期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	全学共通科目主題B3		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)コンピュータと教育 その1 (英文名) Computers in Education first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)林敏浩 (ローマ字)Toshihiro Hayashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	コンピュータと教育 その2
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	コンピュータと教育 その2
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	情報通信技術, CAI, e-Learning, 教育システム／ICT, CAI, e-Learning, Educational Systems				
21. 授業概要	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予 習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのよ うな情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。 なお、7,8回目は教育システム研究などの動向により予定と異なる内容になる場合がある。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	ICTを利活用する教育環境を単に利用者(学習者)として利用するだけではなく、これまでにはなかった 21世紀型の新しい教育環境の特徴を深く理解するため、本講義で、近年発展してきたe-Learningなど情 報通信技術(ICT)を活用した教育・学習から、コンピュータと教育について学習する。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1)教育・学習方法の概要を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸 問題に対する探究能力」に対応)。 (2)(1)を支える情報通信技術を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会 の諸問題に対する探究能力」に対応)。				☑

	(3)教育・学習支援システムにどのようなものがあるか概説できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。	
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>第1回目:講義ガイダンス、「コンピュータと教育 その1」の講義で何を学ぶか?</p> <p>第2回目:e-Learningでいかに学ぶか?</p> <p>第3回目:遠隔講義でいかに学ぶか?</p> <p>第4回目:ICTを活用した教育・学習支援(1):CAI(Computer Assisted Instruction)概説</p> <p>第5回目:ICTを活用した教育・学習支援(2):CAIシステムの歴史と新しい教育システム</p> <p>第6回目:ICTを活用した教育・学習支援(3):知的CAI概説</p> <p>第7回目:トピックス: 四国におけるe-Learningによる教育連携</p> <p>第8回目:トピックス:MOOCs</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>【学習の方法】</p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS(Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満、または、最終課題が未提出の場合は得点に関わらず不可とする。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け なし	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:なし</p> <p>2018年度以前に「コンピュータと教育」を単位修得している場合は履修できない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。 各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/			<input type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時：金曜1時限目 場所：幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)		<input type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

40. その他／備考



シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	全学共通科目主題B3		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)コンピュータと教育 その2				
	(英文名) Computers in Education second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)林敏浩				
	(ローマ字)Toshihiro Hayashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	コンピュータと教育 その1
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	コンピュータと教育 その1
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	情報通信技術, CAI, e-Learning, 教育システム／ICT, CAI, e-Learning, Educational Systems				
21. 授業概要	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予 習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのよ うな情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	ICTを利活用する教育環境を単に利用者(学習者)として利用するだけではなく、これまでにはなかった 21世紀型の新しい教育環境の特徴を深く理解するため、本講義で、近年発展してきたe-Learningなど情 報通信技術(ICT)を活用した教育・学習から、コンピュータと教育について学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1)教育・学習支援システムにどのようなものがあるか説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダ ードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。 (2)支援システムの活用事例などを説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社 会の諸問題に対する探究能力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>第1回目: 講義ガイダンス、「コンピュータと教育 その2」の講義で何を学ぶか?</p> <p>第2回目: 教育・学習支援システム(1): フレーム型システム</p> <p>第3回目: 教育・学習支援システム(2): ドリル&プラクティス型CAIシステム</p> <p>第4回目: 教育・学習支援システム(3): ゲーム&シミュレーション型システム</p> <p>第5回目: 教育・学習支援システム(4): アドリブ型・情報検索型・質問応答型システム</p> <p>第6回目: 高度教育・学習支援システム(1): 知的CAIシステム</p> <p>第7回目: 高度教育・学習支援システム(2): いろいろな高度教育システム</p> <p>第8回目: 高度教育・学習支援システム(3): 協調学習支援システム</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>【学習の方法】</p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System) にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の課題(8回: 各最高10点)と最終課題(1回: 最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満、または、最終課題が未提出の場合は得点に関わらず不可とする。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限: なし</p> <p>2018年度以前に「コンピュータと教育」を単位修得している場合は履修できない。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時：金曜1時限目 場所：幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考					<input type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 人工魚礁の開発と環境保全				
	(英文名) Development of Artificial Reefs and Environmental Conservation				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 末永 慶寛				
	(ローマ字) Suenaga Yoshihiro				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分		
14. 対象学生	1～3年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2・3年次／全学部	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	人工魚礁, 流動制御, 環境改善, 資源生産力 Artificial Reef, Current Control, Environmental Improvement, Resources Productivity				
21. 授業概要	水産資源生産力の向上のための施設として人工魚礁が開発されてきた。本講義では、人工魚礁開発の歴史と人工魚礁の有すべき水産資源生産力向上および環境改善機能について、実海域における具体例を挙げながら解説する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	主に瀬戸内海を中心として、人工魚礁の開発にまつわる歴史、求められる機能、実海域における生物資源増大に資する効果に関する知識を得ることが本授業の目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	本講義を受講することにより、以下の項目を説明できる。 1. 人工魚礁の歴史、役割、実海域における効果 2. 地場産業との共同研究による技術の実用化				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																					
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>※ 授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む)、人工魚礁開発の歴史 2. 人工魚礁の安定性 3. 人工魚礁の流動制御機能 4. 人工魚礁の生物蛸集機能 5. 人工魚礁の藻場造成機能 6. 人工魚礁の環境改善機能 7. 大学と地場産業との連携による実用化の事例 8. 期末レポート 			<input checked="" type="checkbox"/>																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。			<input checked="" type="checkbox"/>																	
28. 成績評価の方法と基準	4回的小テストを計40点満点、期末レポートを60点満点で評価し、合計60点以上を合格とする。なお、小テストの受験(提出)回数が3回未満の場合は、期末レポートの提出資格を与えない。			<input checked="" type="checkbox"/>																	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し		<input checked="" type="checkbox"/>																	
	連携大学学生向け	無し																			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学 200名、徳島大学 50名、鳴門教育大学 50名、高知大学 50名、愛媛大学 50名受講人数</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
教科書1	書名																				
	ISBN		著者名																		
	出版社		出版年																		
	金額		備考																		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	閉鎖生態系・生態工学ハンドブック			☑
		ISBN	978-4-904419-57-1	著者名	大政, 竹内, 末永, 菊池ら	
		出版社	丸善出版	出版年	2015	
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/				☑	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	教職・その他()	☑		
37. 教員相互参観授業公開日程					☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(suenaga@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			☑	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 電子メール(suenaga@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			☑	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	suenaga@eng.kagawa-u.ac.jp			☑	
	連携大学 学生向け	suenaga@eng.kagawa-u.ac.jp			☑	
40. その他／備考	建設業, コンサルティング, サービス業等の実務経験を有し, その経験を活かして建造物の設計, 施工, 環境影響評価および実用化に至る「ものづくり」の基礎を教育している。				☑	

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 高度情報化社会の歩き方 (英文名) Way of Walking on Advanced Information Society				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 後藤田 中, 藤本 憲市 (ローマ字) Gotoda Naka, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	高度情報化社会, 人工知能, 技術的特異点, セキュリティ Advanced Information Society, Artificial Intelligence, Singularity, Security				
21. 授業概要	高度情報化に伴い, 我々の身の回りの社会環境は, 益々創造的で豊かになっている。AIやIoTといったテクノロジーが進化し, 我々の生活に溶け込み, “便利な”サービスの根幹をなし始めている。一方で我々の生活が豊かになる反面, 見落としがちな諸問題も生まれ始めている。この授業では, 高度情報化社会に伴う我々の社会環境における現在, そして今後の予測に対し, 光と影, それぞれの一端を紹介し, 人と情報がどのように接すれば, より豊かな生活を実現できるか学ぶ。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	高度情報化社会の特徴としてみられる, 様々なテクノロジーの特徴を知識として獲得し, そのテクノロジーから生まれるサービスの利用例, また注意すべき点を理解することが本授業の目的である。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	以下の項目を説明できる。 1. AIがもたらす可能性と社会的諸問題(例: 人の雇用, 著作権) 2. IoTにより, ネットワークにつながる便利さと注意点(例: セキュリティ)				☑

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)					
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>※ 授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人工知能による創作 2. 著作物の円滑な利用について 3. AIにより置き換わる仕事・進化する体 4. 広がるIoT・迫るセキュリティ脅威 5. スポーツにICTを適用する 6. 暗号とセキュリティ 7. 学習するコンピュータ 8. 期末レポート 			<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を確認するためのレポートを課しています。ビデオ視聴するだけでなく、自ら調査を行い、レポート内容にも反映してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	7回の小テスト(50点)と期末レポート(50点)により評価し、合計60点以上を合格とする。なお、小テストの提出回数が5回未満の場合は、期末レポートの提出資格を与えない。			<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し		<input type="checkbox"/>	
	連携大学学生向け	無し			
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名 計100名まで</p>			<input type="checkbox"/>	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	
32. 教科書(購入の必要のある図書)					<input type="checkbox"/>
	教科書1	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから迎えることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし 教職・その他()		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	担当回教員の電子メールを利用し、随時間い合わせてください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 担当回教員の電子メールを利用し、随時間い合わせてください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学	(後藤田) gotoda@eng.kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	学生向け	(藤本) fujimoto@eng.kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(後藤田) gotoda@eng.kagawa-u.ac.jp (藤本) fujimoto@eng.kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. その他／備考	本科目は、スポーツ科学や実践的技術者教育に係る実務経験を有する教員2名(それぞれ後藤田、藤本)が、専門分野の知見を活用した講義コンテンツ(それぞれ第3～5回、第6～7回)を使用して実践的教育を実施するものである。				<input checked="" type="checkbox"/>	

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2020		2. 開講学期	後期前半		
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング		
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング			
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) データ利活用とオープンイノベーションで創る未来のまちづくり (英文名) Data driven and Open innovative solutions for future community creation					
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)					
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 米谷 雄介 (ローマ字) Kometani Yusuke					
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜			
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし		
14. 対象学生	1～4年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～4年次／全学部		
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室			
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特になし	
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	スマートシティ, まちづくり, データ利活用, オープンイノベーション Smart City, Community Creation, Data Utilization, Open Innovation					
21. 授業概要	<p>スマートシティは新たなまちづくりのモデルである。従来のインフラ中心からICT・IoTに基づくデータ利活用中心、言い換えるとハードウェア／サプライヤ中心からソフトウェア／ユーザ中心のまちづくりへの転換である。この新たなまちづくりのモデルの特徴は、異業種・異分野の協働を基本(分野横断型)とし、社会課題の解決を中心に据え(課題解決型)、サービスの利用実績によりサービスは進化していき(進化型)、そして、自分たちの使う公共サービスは自分たちで創るというDIY思想(市民中心設計)となっている。近年様々な基礎自治体においてスマートシティに向けた動きがあるが、スマートシティの推進を担う人材の育成が課題となっている。そこで、本授業は、スマートシティの推進に必要な素養の獲得を支援する。受講者は、データ利活用技術やオープンイノベーションの考え方を知り、活用することを経験する。香川におけるケーススタディを通じて自分たちの地域のあり方を見直し、地域の課題解決に資するデータ利活用サービスを考案する態度を獲得する。</p>					☑

22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	本授業の目的は、スマートシティを担う人材に必要なとされるデータ利活用技術およびオープンイノベーションの考え方を理解し、体得することを目的とする。	<input checked="" type="checkbox"/>				
23. 授業の到達目標／学修課題	<p>以下の知識を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スマートシティとは何であり、なぜ必要であるか？ 2. オープンイノベーションとは何であり、なぜ必要であるか？ <p>以下の行動ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 香川大学が開発したICT・IoTツールを用いてデータ利活用サービスのプロトタイプを作成できる 2. 異業種・異分野の他者とのアイデア交換を通じて自分なりにデータ利活用サービスを考案できる 	<input checked="" type="checkbox"/>				
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）						
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>※ 授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スマートシティ／オープンデータとは：オープンイノベーションによるデータ利活用サービス創出の実際 2. スマートシティたかまつのオープンデータカタログを用いたデータ利活用サービス開発演習 3. 移動体データの収集方法および可視化方法 4. パスロケーションシステム作成演習 5. オープンイノベーションの考え方 6. オープンイノベーション実践 7. データ利活用サービス創造演習 8. 期末レポート（オンライン成果発表会） 	<input checked="" type="checkbox"/>				
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を確認するためのレポートを課しています。ビデオ視聴するだけでなく、自ら演習を行い、レポート内容にも反映してください。	<input checked="" type="checkbox"/>				
28. 成績評価の方法と基準	1～4回の小レポート（50点）と5回～6回のオンラインディスカッションの内容（20点）、7回～8回の期末レポート（30点）により評価し、合計60点以上を合格とします。なお、小レポートを未提出の場合は、期末レポートの提出資格を与えません。	<input checked="" type="checkbox"/>				
29. 再試験の有無	<table border="1" data-bbox="343 1749 1409 1848"> <tr> <td data-bbox="343 1749 571 1800">自大学学生向け</td> <td data-bbox="571 1749 1409 1800">無し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1800 571 1848">連携大学学生向け</td> <td data-bbox="571 1800 1409 1848">無し</td> </tr> </table>	自大学学生向け	無し	連携大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
自大学学生向け	無し					
連携大学学生向け	無し					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限：あり</p> <p>香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名 計50名まで</p>	<input type="checkbox"/>				

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> </tr> </table>			教科書1	書名			I S B N		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>																										
教科書1	書名																																										
	I S B N		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> </tr> </table>			参考書1	書名			I S B N		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書2	書名			I S B N		著者名	出版社		出版年	金額		備考	参考書3	書名			I S B N		著者名	出版社		出版年	金額		備考	<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																										
	I S B N		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書2	書名																																										
	I S B N		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
参考書3	書名																																										
	I S B N		著者名																																								
	出版社		出版年																																								
	金額		備考																																								
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawaにある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから迎えることができます。</p> <p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ https://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																							
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし 教職・その他()	<input type="checkbox"/>																																							
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																							
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	担当回教員の電子メールを利用し、随時間い合わせてください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 担当回教員の電子メールを利用し、随時間い合わせてください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	(米谷) kometani@eng.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																							
	連携大学 学生向け	(米谷) kometani@eng.kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																							

40. その他／備考

本科目は、データ利活用プラットフォームやデータ可視化技術に係る実務経験を有する教員が、専門分野の知見を活用した講義コンテンツを使用して実践的教育を実施するものである。

